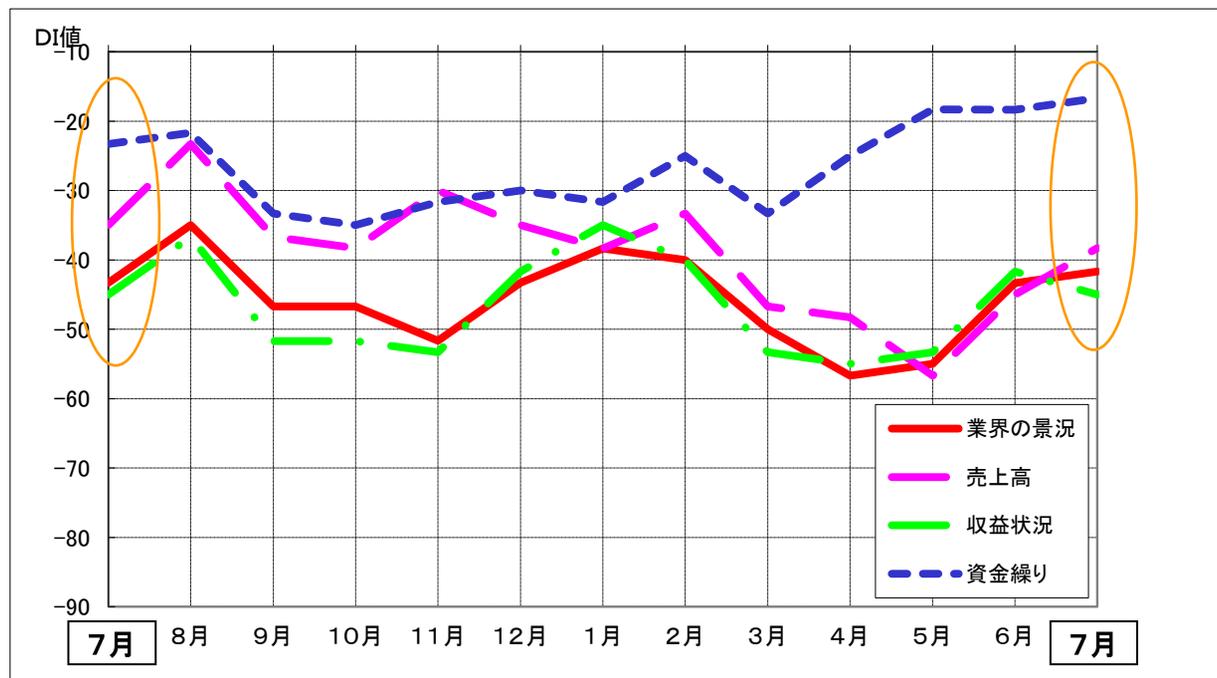


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成22年7月～平成23年7月

単位:ポイント



	H22						H23						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
業界の景況	-43.3	-35.0	-46.7	-46.7	-51.7	-43.3	-38.3	-40.0	-50.0	-56.7	-55.0	-43.3	-41.7
売上高	-35.0	-23.3	-36.7	-38.3	-30.0	-35.0	-38.3	-33.3	-46.7	-48.3	-56.7	-45.0	-38.3
収益状況	-45.0	-36.7	-51.7	-51.7	-53.3	-41.7	-35.0	-40.0	-53.3	-55.0	-53.3	-41.7	-45.0
資金繰り	-23.3	-21.7	-33.3	-35.0	-31.7	-30.0	-31.7	-25.0	-33.3	-25.0	-18.3	-18.3	-16.7

○7月のDI値は前年同月に比べ、2項目が改善し、1項目が悪化した。「業界の景況」DI値は1.6ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイントとそれぞれ改善し、「売上高」DI値は3.3ポイント悪化、「収益状況」DI値は変わらなかった。今月の製造業と非製造業とのDI値の比較では、非製造業の方が「業界の景況」で17.9ポイント、「売上高」で11.7ポイント、「収益状況」で24.2ポイントと低い値を示しており、前月と比べその差は「収益状況」で6.3ポイント広がった。なお、前月比で見ると、「業界の景況」、「資金繰り」は1.6ポイント、「売上高」は6.7ポイント改善し、「収益状況」は3.3ポイント悪化した。一部の業種では受注量、売上高の増加があったものの、原材料価格の上昇や消費控えの傾向が根強く、収益状況を改善するまでには至っていない。震災による影響も長引いており、円高や平成23年7月新潟・福島豪雨による影響とも相まって先行きを憂慮する声が多い。

○組合の特記事項からは、東日本大震災や平成23年7月新潟・福島豪雨の影響が様々な面で生じていることが指摘されており、製造業では、鉄鋼・金属製造業、一般機器製造業を中心に円高や原材料高の影響を懸念する声があった。非製造業では、商店街、サービス業を中心に、震災、豪雨の影響により売上が減少しているという声が多い。